

(様式第4号)

介護保険運営協議会 会議概要

- 1 審議会名 上田市介護保険運営協議会
- 2 日 時 平成27年9月10日 午後1時15分から午後2時40分まで
- 3 会 場 上田市役所南庁舎5階第3,4会議室
- 4 出席者 佐藤委員、山野井委員、宮下委員、中村委員、藤井委員、田畑委員、
小山委員、武捨委員、田中委員、大草委員、関委員
- 5 市側出席者 櫻田福祉部長、藤沢高齢者介護課長、桜井介護保険担当係長、小須田介護保険
担当係長、小川地域包括ケア推進係長、西入高齢者支援担当係長、竹内高齢者
支援担当係長、久保田高齢者支援担当係長、宮沢高齢者支援担当係長、滝沢昌樹
高齢者支援担当係長、滝沢研一高齢者支援担当係長
- 6 公開・非公開等の別 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成27年9月14日

協議事項等

- 1 開 会 (高齢者介護課長)
- 2 福祉部長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 協議事項
 - (1) 平成26年度介護保険事業の運営について
 - (2) 平成26年度地域包括支援センターの状況について
 - (3) 平成26年度高齢者福祉事業の状況について
 - (4) 第6期上田市高齢者福祉総合計画について
- 5 閉会

審議概要

- (委員) 介護保険の認定率、全国と県の数字を載せていただきたい。また、せめて国・県並みの水準までもっていくような努力が必要じゃないかと思います。全国的にはそういった水準をもっていった好事例もありますので、検討していただきたい。申請の初期の段階で、総合相談窓口というような感じで、最初の段階できちんと説明するというのも認定率に関係すると思います。
- (事務局) 認定率は国の昨年12月末時点の数字は17.9%。県は事業状況報告がまとまっていないですが、これと似かよった数字ではないかと思います。平成25年の数字で17.3%。はっきりしたところで、数字を報告したいと思います。
- (委員) 地域包括センターは、包括ケアシステム構築の核となる機関です。全部委託でやっている以上、それぞれの地域の特性に応じた課題とかニーズもありますから、一概に言えませんが、

きちんと評価をしていかないと、地域包括ケアシステムのネットワークづくりは難しいと思います。日常生活圏域ごとに包括ありますので、市と委託先と業務を明確にさせていただきたいと思います。また、地域住民説明会では包括の方が、リーダーシップ的にやっていただいた方が、包括がどういう仕事をしているか、役割などいろいろと分かりやすいと思います。

27年度に向けての重点項目に地域ケア会議の推進というのは載っておりませんが、どこかに載せてやっていく必要があると思います。多職種による連携、顔の見える関係づくり、非常に大事ですよ。認知症施策にしても、あるいは生活支援サービス、介護予防、あるいはサロンづくりにしてもこの会議に推進するということですね。ここには、ぜひ医療関係者も、加えてもらいたいです。

(事務局) 地域ケア会議は、計画書には載っていますし、今回資料に載せなかったのは総合事業で、2年前から毎週個別のケース会議やっているためです。先進地として和光市の視察に行ってみて、同じような形で専門職入ってやっているというのと、個別のケース課題の他にも、地域課題を掘り起こすためのケア会議は当然必要なのですが、これについてはご希望・指摘のありました医療関係者という点についても検討させていただきながら進めていきたいと思っています。

(委員) 資料4の医療介護連携の推進は、もうちょっとペース早くしないと間に合わないんじゃないですかね。できれば、前倒しでやっていただけたほうがいいかなと思います。

(事務局) 国の方では平成30年4月までにはとなっておりますので、なるべく早め早めに各項目については検討していきたいと思っています。今回提示させていただいたのはあくまで現状での予定でありまして、なるべくそれより早く行っていきたいと考えております。

(委員) 資料3の老人クラブの現状ですが、減少した理由色々あると思いますが、減少するということは、行動する場所がなくなるという現象が起きると思うんですけど。そういうことに対して対策はありますか。老人クラブということになると、私の自治会もほとんど動いていけなくなっちゃって、老人クラブというものが成り立たなくなった。老人クラブみたいなその地域の集まりを育成する部分が...光を当てて行かないとますます介護が必要な方が増えてしまうんじゃないかと思うんですけど、そういうことももし具体的な施策があったら教えていただきたいと思っています。

(事務局) 老人クラブについては、役員の成り手がなくて、高齢者クラブの方から脱退されてしまうクラブもあるんですけど、実際には脱退しても、地元で独自にやっちらっしゃるというののかなり多くて、高齢者クラブに団体として入ることを敬遠されているというケースがあるようです。クラブ自体が弱体化しているというケースもございまして、高齢者のサロンというモデル事業を7か所やっております、これからは地域で民家のようなところを借りていつも身近で相談できるようなサロンのようなものも来年度以降立ち上げたいと考えております。老人クラブの代わりになるものではないかもしれませんが、地域にも光を当てたと考えています。

(委員長) 協議事項(1)～(4)承認ということによろしいでしょうか。
承認いただきました。